

令和6年度 第2回岡崎市図書館交流プラザ運営協議会 会議録

1 日時

令和7年2月4日（火） 午前10時30分～11時30分

2 会場

図書館交流プラザ 会議室 301

3 出席委員（6名）

田中 人	会長（山陽学園大学教授）
清松治子	委員（岡崎市図書館協議会委員）
長谷川伸介	委員（株式会社まちづくり岡崎取締役事業統括部長）
西野陽子	委員（りぶらサポータークラブ会員）
諸富智枝	委員（市民公募）
長尾晴香	委員（市民公募）
野澤 琳	委員（市民公募）

4 欠席委員

なし

5 傍聴者

なし

6 説明等のため出席した職員の職・氏名

(1) 社会文化部

加藤健一郎（部長）

手嶋俊明（専門監）

ア 多様性社会推進課

室田すみえ（副課長）

太田義男

イ 生涯学習課

岡田武士（課長）

丸本洋乃（副課長）

尾崎孝幸（総務企画係長）

小川正紀（施設管理係長）

中川奏磨

太田隼平

ウ 中央図書館

谷端健司（館長）

(2) 市民安全部

市民協働推進課

鈴木正隆（副課長）

7 次第

(1) 開会あいさつ

(2) 議題
運営状況について

8 議事（要旨）

運営状況について資料に基づき事務局による説明、その後質疑応答。

< 1 入館者数・駐車場利用について >

委 員 入館者数と駐車台数以外はどうか、数字がなくとも感覚でよい。

事務局 手元に資料がないため、あくまで感覚で回答することをご容赦願いたい。全体的な稼働率については大きな変動はないと感じている。

ホールなどは土日の稼働率が高いが、平日には空きがあり、いっぱい、というわけではない。全体的に、空きはあるが、稼働率はそれなりに高いと思っている。

委 員 空いているのであれば、料金などの簡単な資料を作成し、民間事業者の各団体等へ利用の声掛けをしてはどうか。待ちの姿勢ではなく、一步アプローチすることを考えてみては、と感じた。

委 員 入館者数を示しているが、これは延べ人数だと思う。たくさんの人に来館してもらいたいと考えるのであればジャズ等のコアなものも良いが、もっと広く受け入れられるようなことをしても良いかもしれない。

また、高校生以上や未就学児が対象のものが多い中、小中学生を対象としたものが少ないように感じたので、増やしてはどうかと感じた。

委 員 今年度までは小学校には図書館からチョイスされた図書が送られていたが、来年度からそれがなくなると聞いている。子どもたちのため、なんとか工夫してほしいと感じた。

事務局 現在検討中であるが、図書館職員が学校に出向いて図書に関する講義を行い、本の楽しさを広めていく、といったことを考えている。

< 2 多様な社会機能と市民活動 >

委 員 ジャズにおいては SNS を活用していることがうかがえるが、図書館においては SNS の活用はどうか。

事務局 中央図書館においても、フェイスブック及び X での情報発信を行い、イベントや企画展の周知を図っている。

委 員 課題に感じていることはあるか。

事務局 昨年図書館のシステム更新を行った際に、X の設定誤りでフォローが全て解除されてしまった。来館者にフォローし直すよう呼びかけているが、全ては戻っていない。

委 員 シネマ・ド・リぶらは非常に魅力的な企画に感じている。こういったことをもっと発信していけると良いと感じる。

事務局 主体となって実施しているりぶらサポータークラブとも共有しておく。

委 員 シネマ・ド・リぶらについて、もっと PR したいと考えているが、市政だより掲載以後でないと次回のちらしが配布できない、といった市側のルールもあり、早い時期から動くことができておら

ず、もどかしさを感じている。

事務局 記者等への配慮からそういったことになっているのだと思う。

広報誌以外でもプレスリリースであれば早い段階でできる。

年間計画が決まっているのであれば、それを先に告知することで、市政だよりも前に告知することができる。

一定のルールはどうしても発生するが、工夫次第だと感じる。また、シネマ・ド・リぶらの魅力は「図書館に収蔵されているものをみんなで見る」というところだと思う。そういったところを出していけるとよいと思っている。

委員 前向きな回答をいただいたと思う。今後も楽しみにしている人を1番に考えて活動していきたい。

委員 年間計画を先に出してもらえると、利用者側が予定を立てやすく、良いと思った。

< 3 駐車場・共用エリアの活用 >

委員 駐車場利用令和6年度実績について、使用料はどういった計算がされているのか

事務局 土地評価額を基に1㎡に換算し、営利部分で使用した面積に応じて使用料を計算している。桜まつりではほぼ全面を利用したのに対し、花火大会や地元の夏祭りでは、キッチンカー等の販売スペースのみを対象としたため、金額に差が出ている。

委員 図書館交流プラザの居心地空間づくり事業については、図書館が学ぶ場所であること体験できる良い取り組みであると感じた。こうしたことを外国をルーツとしたこどもたちにも提供してほしい。岡崎市は外国籍の方が県内でも非常に多い自治体であるが、りぶら国際交流センターは3Fにあり、あまり目立たない。外国籍の住民の方にも知ってもらえるよう、こうした機会・場所があればよいと感じた。

事務局 3Fは確かに意識しないと足を運びにくいと思う。3階の休憩スペース、展示スペース等、あらゆるところを活用すれば3Fまで来てくれて、りぶら国際交流センターも目に入るのではと思う。開市500年イベントの際には、地元の商店がストリート広場に店を出し、お互い知らない店同士交流があったと聞く。図書館交流プラザでもこうした異なる分野等の交流が生まれると非常に良いと思っている。

< 4 利用者からの意見 >

委員 駐車場無料が2時間では落ち着いて会議ができないと思う。自分の周辺でもそういった声を聞いたことがある。周辺自治体では3時間まで無料の場所もある。シネマ・ド・リぶらで上映するものも2時間近くかかるため、途中退席する方もいた。駐車場無料について考えてほしい。

委員 催事の有料・無料で分けてもよいかもしれない。

委員 場所によっては1時間のみ無料という場所もある。ただ、映画は2時間以上となるので、引き続き検討事項かなとは思う。

以 上